

平塚協会報

発行所 公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 発行責任者 高橋 干之

全国安全週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 湯川 和彦



神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方におかれましては、日ごろから当署の行政運営に格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は第12次労働災害防止推進計画の3年目ということで、当署においても皆様方の御協力を得ながら、休業4日以上労働災害による死傷者数を410人以下とするよう行政の重点課題として取り組んだところですが、結果としては休業4日以上死傷者数は444人であったことから、目標達成はなりません。昨年の当署管内の休業4日以上労働災害の発生状況は、製造業では「はさまれ・巻き込まれ」、建設業及び道路貨物運送業では「墜落・転落」、小売業では「転倒」、社会福祉施設では「動作の反動・無理な動作」、飲食店では「切れ・こすれ」といった事故の型が最多となっているので、このような労働災害の発生状況に応じた労働災害防止対策、とりわけ業種横断的に発生し、全産業では事故の型が最多である転倒災害の防止を重点に推進していくこととしていますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

一方、死亡災害については、昨年は当署管内ではゼロ件で、全国で見ても972人と、統計を取り始めてから初めて1,000人を下回る結果となりました。これはひとえに皆様方をはじめ産業安全に長年携わってこられた多くの方々のご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第です。

さて、全国安全週間が7月1日から7日まで実施されます。全国安全週間は、ご案内のとおり、「人命尊重」という崇高な基本理念のもと、産業界での自主的な労働災害防

止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的に、昭和3年に初めて実施されて以来一度も中断することなく今年で89回目を迎えます。

今年は

「見えますか？

あなたのまわりの見えない危険

みんなで見つける安全管理」

をスローガンとして展開していくことになっています。近年の産業構造の変化に伴い拡大している第三次産業などにおいては、職場の安全に自ら取り組むといった意識が十分とはいえず、また、経験の浅い労働者は職場に潜む危険を感知することができないといったことなどを背景として、休業災害を含む労働災害全体の数は、決して十分な減少傾向にあるとはいえない現状にあります。このような状況を踏まえ、今年のスローガンは、安全な職場環境を形成するため、同じ職場にいる労働者全員で、早期に職場の危険要因を発見、改善、見える化し、もって労働災害の発生を未然に防止することを呼びかけています。

皆様方におかれましては、この全国安全週間を契機として、それぞれの職場において労働災害防止の重要性についての認識をさらに深めていただき、引き続き自主的安全管理活動の定着を図られますよう、また、それによって職場の安全管理水準が一層高まることを期待しています。

最後に、会員事業場の益々のご発展とゼロ災害を祈念いたします。

平成28年度 全国安全週間スローガン

見えますか？ あなたのまわりの 見えない危険 みんなで見つける 安全管理

全国安全週間 平塚地区促進大会

6月3日(金)平塚市中央公民館に於いて「平成28年第89回全国安全週間平塚地区促進大会」が「見えますか？あなたのまわりの見えない危険 みんなで見つける安全管理」のスローガンのもと開催されました。

オープニングは「湘南鼓連」による和太鼓の演奏が披露されました。囃子太鼓の小刻みなリズムに合わせ、力強く、勇壮な音が場内に響きわたりました。

大会は神奈川労務安全衛生協会平塚支部の長尾支部長による開会のご挨拶があり、次に平塚労働基準監督署 湯川署長によるご挨拶と平塚市落合市長による来賓挨拶へと続き、引き続き平塚労働基準監督署 青山安全衛生課長より「全国安全週間」の趣旨説明をいただきました。

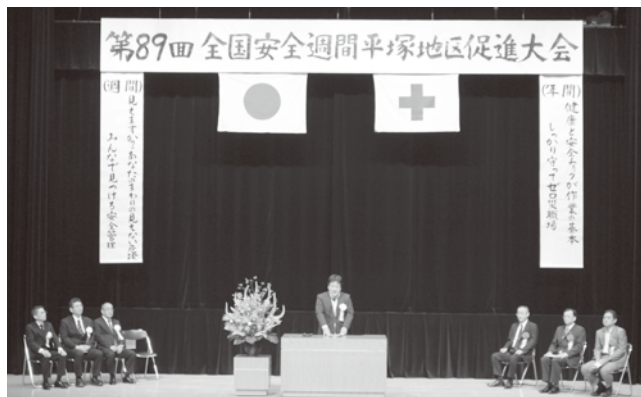
「第12次労働災害防止計画」は今年で4年目となり「全国安全週間」、及び準備期間中に実施する事項について説明がありました。特に化学物質のリスクアセスメントが平成28年6月に施行され、危険性、又は有害性のある化学物質についてリスクの低減対策を検討実施することが義務づけられた事が説明されました。他、労働災害の発生要因について分かり易く説明され災害の発生防止について説明がありました。

休憩をはさみ、特別講演として(株)アマダホールディングスの「防災士」稲葉雅一様より「富士山噴火の備え」と題してご講演をいただきました。富士山の地殻構造と過去の

噴火、今後の噴火の想定、宝永の噴火と同規模の噴火が起こった場合の降灰等の被害想定、火山現象別の避難計画の検討等についてお話しがありました。中でも降灰のレベルにもよりますが交通の障害、人への健康障害、家屋の損傷、通信機能障害、更に降灰後、大雨による土石流の発生の懸念等さまざまな被害想定について説明がありました。噴火が起こった場合の避難と噴火後の降灰の除去等復旧対応が重要であるとの説明があり、常に被害を想定してそれに備える事の大切さを習得する事が出来ました。

最後に神奈川労務安全衛生協会平塚支部 長尾支部長より閉会のご挨拶があり、本大会終了となりました。

大東化学(株) 高橋 記



熱中症予防対策基礎講座

6月7日(水)当協会支部にて、「熱中症予防対策基礎講座」が開催され14社16名の方が受講された。

講習は、熱中症予防指導員 安部秀昭氏(大塚製薬(株))、



労働衛生コンサルタント 矢崎麻純氏(Y・カノン)そして保護器具使用説明を井上大輔氏(ミドリ安全湘南(株))がそれぞれ豊富な事例と統計データを駆使してわかりやすく丁寧に説明されていたことが印象に残りました。

熱中症による休業4日以上災害は平成27年度全国で464件あり、内29名の方の尊い命が失われました。最も発生の多い時期は梅雨明けから急速に増え始め7～8月で全体の9割が集中するとのこと、猛暑になれば必ずと言っていいほど救急車の出動回数が一気に増え、その第一の要因が「熱中症の疑い」であるということからもうなずく人も多いと思います。本講はまさに職場での予防対策をするうえでタイムリーな講座であると思いました。

最後に、徹底した教育。リスクアセスメント等の実施。個人要因に十分配慮した改善策が今後の課題として示され、より踏み込んだ、参加者の職場の事情に応じた予防策を展開してほしいとの要望で本講座は締めくくられました。

佐藤産業(株) 佐藤 記



ストレスチェック始まりましたね。

労働衛生コンサルタント事務所 Y・カノン 矢崎 麻純



全国安全週間平塚地区促進大会に出席しました。オープニングで会場全体に響き渡る強烈な太鼓の音と舞台での見事なバチさばき、NS湘南鼓連のダイナミックな太鼓演奏です。難聴や頸肩腕障害大丈夫かと、職業柄いらぬ心配をしながら着席しました。太鼓の音を聞き始めてまもなく、不思議と心が落ち着き、なんとわずか数分でリズムカルな太鼓の音がとても心地よく身体に染み渡り、素晴らしいリラクゼーションを味わうことができました。さて、職場においては法改

正ストレスチェックが施行されました。目的の一つは一次予防、職場で働くすべての人がメンタル不調に陥らないように自身のストレスに気づき、ストレス対処を進めていくこととあります。わずかな時間でも、日々の社会生活の中で心に響く素晴らしいものに出会えるチャンスは今回のようにいろいろな場所であると思います。日頃の忙しさの中で、ほんの少し力を抜いて周りを見渡す余裕を持てば、リラクゼーションがきっと与えられることでしょう。さあ皆さま、1年に1回はストレスチェックを受けて、自身のストレス度を確認いたしましょう。

監督署からのお知らせ

労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新申告書を受付中です

労働保険の保険料は、その年度における申告の際に概算で申告・納付し、翌年度の申告の際に確定申告の上、精算することになっていますので、事業主の皆様には、前年度の確定保険料と当年度の概算保険料を申告・納付していただくことになります。また、労災保険と併せて石綿健康被害救済のための一般拠出金も申告・納付していただく必要があります。

平成28年度の労働保険料の申告・納付は7月11日(月)までをお願いします。

■今年度から申告書に「法人番号」の記入が必要となります。

■申告書の書き方はコールセンター(フリーダイヤル 0120-949-732 受付時間 7月19日(金)までの月～金曜日 9時～17時まで)にお問い合わせください。

■申告・納付は管轄の労働局(総務部労働保険徴収課)、労働基準監督署又は最寄りの金融機関へお願いします。

■申告書等の内容について、委託事業者「伊藤喜ベストメイツ株式会社」から問い合わせをさせていただくことがあります。また、申告書等の提出について、委託事業者「株式会社バックスグループ」から電話による問い合わせや現地確認をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■労働保険の概算保険料が40万円(労災保険又は雇用保険のどちらか一方の保険のみ成立している場合は20万円)以上の場合、3回に分けて納付(延納)することができます。今年度において延納申請した場合の労働保険料の納期は次のとおりです。

納期(平成28年度)	全期・第1期	第2期	第3期
口座振替を利用しない場合	7月11日	10月31日	1月31日
口座振替納付日	9月6日	11月14日	2月14日

■電子申請を利用することにより、労働局、労働基準監督署又は金融機関の窓口に出向くことなく、また、夜間・休日でも手続することができます。

労働局の組織が変わりました

パワハラや解雇、マタハラやセクハラなどの相談対応を一体化するため、平成28年4月から神奈川労働局に「雇用環境・均等部」を新たに設置しました。

これまで、パワハラや解雇に関する相談は総務部企画室、企業への啓発指導は労働基準部監督課が、またセクハラやマタハラに関する相談・指導は雇用均等室が行っていましたが、パワハラやマタハラなどを同時に受けるケースや、

同じ企業に対して労働局の複数の部署が重複して指導を行うといったケースも見られていました。

そこで、これまで担当部署ごとに行っていた取組や対応などを「雇用環境・均等部」が一体的に行うよう見直し、「女性の活躍促進」や「働き方改革」などの取組を効果的に推進していきます。

【ポイント】

①総合的な行政事務の展開

男女共に働きやすい雇用環境を実現するため、「雇用環境・均等部」が、「女性の活躍促進」や「働き方改革」などの企業・経済団体への働きかけをワンパッケージで効果的に実施します。

②労働相談の対応の一体的実施・個別の労働紛争の未然防止と解決の一体的実施

労働相談の利便性を高めるため、「雇用環境・均等部」が、パワハラや解雇等に関する相談とマタハラやセクハラ等に関する相談の対応を一体的に進めます。

また、個別の労働紛争を未然に防止する取組(企業への指導)と解決への取組(調停・あっせんなど)を一体的に実施します。

③業務実施体制の整備・強化

女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進、働き方改革などの取組を強力に進めるため、「雇用環境・均等部」に専門官職(雇用環境改善・均等推進指導官)を配置します。

《連絡先》

神奈川労働局雇用環境・均等部

住 所：〒231-8434 神奈川県横浜市中区北仲通5-57
横浜第2合同庁舎13階

電 話 企画課 045(211)7357

指導課 045(211)7380

登録はもうお済ですか？ 神奈川労働局メールマガジンのご案内

神奈川労働局では、毎月1回、①労働行政や人事労務管理などに関する新着情報、②法改正などの情報、③神奈川労働局並びに管下監督署及びハローワークのイベント情報等を定期的に配信しているほか、重要又は緊急性のあるお知らせは随時配信しています。

登録の際は、神奈川労働局のホームページの「神奈川労働局メールマガジン毎月1回配信」ボタンをクリックしてください。

労働災害発生状況(労働者死傷病報告件数)

(平成28年5月末現在)

		製造業	建設業	運輸業	陸上・港湾貨物 運送取扱業	その他	計
平 塚 労働基準 監督署	平成28年1月～5月 うち死亡災害	29 0	19 0	13 0	14 0	66 0	141 0
	平成27年 うち死亡災害	91 0	65 0	22 0	48 0	218 0	444 0
	平成26年 うち死亡災害	101 2	63 0	19 0	39 0	211 0	433 2
神 奈 川 労働局	平成28年1月～5月 うち死亡災害	324 2	271 4	125 1	286 1	949 2	1,955 10
	平成27年 うち死亡災害	1,005 4	781 10	351 0	876 7	3,498 15	6,511 36
	平成26年 うち死亡災害	1,076 8	857 12	353 0	892 3	3,461 9	6,639 32



雑感 『秦野市にきて』

日鍛バルブ株式会社 西田 広

皆様はじめまして、5月から神奈川労務安全衛生協会・平塚支部の広報部会に参加させていただいております。

広報部会参加の翌月から平塚協会報の1部・「雑感」を執筆させていただき、私のような雑な人の記事が掲載されてよいのかと思いつつ、甚だ恐縮ですがご容赦の程宜しくお願い致します。

さて表題のテーマですが、今年1月より山口県宇部市から秦野市に転勤となったこの身。

まだまだ生活に不慣れなところもありますが秦野の新しい環境を楽しんでおります。

水無川のそばにある中央運動公園周辺に根を張り、秦野

市の景色を見渡すと富士山の雄大な眺めと、大山や三ノ塔などの丹沢山地がすぐ近く見られます。

山口も県名に山が入るほど山の多い場所でしたが、秦野市はグルリと山に囲まれ、山が近いせいか登山を趣味にしておられる方々が休日には多く見られます。今の私の趣味でもある温泉通いのたびに毎回登山の装いの方と会い、山口では見なかった姿に環境の変化を日々感じております。

またこれからも四季の移り変わりのたびに山口との違いを感じるようになる秦野市での生活を楽しむためにも、秦野市でこれから出会う方々や広報部会様との縁を大事にしたいと思いますので宜しくお願い致します。

衛生部会紹介

皆様こんにちは、年々この季節、暑い日々が続いております。熱中症対策と体調管理にも充分気を付けて乗り切りましょう。

衛生部会(以降部会)の活動を紹介させていただきます。

部会は平塚支部産業保健活動委員会(以降支部産保)含む13社15名(新人4名私も含む)のメンバーで活動を行っています。

最初の会合で衛生週間促進大会、部会講習会について「旬なテーマ・話題」はないか情報交換を行い目標を設定します。

次の会合で、事前準備(タイムスケジュール、役割分担決めなど)に取り組みます。

衛生週間促進大会や、部会講習会本番で実際に行動してどうなのかを検証することで次回に生かせる内容をまとめ日頃よりお世話になっている監督署や、部会各社の協力のもと全員で取り組んでいます。

併せて支部産保による施設見学会や、研修会についても情報交換をベースに取り組んでいます。

皆様が直近で関心を持っている「旬テーマ」はもちろん、それ以外でも関心が持てるような「話題テーマ」を吟味し、9月の衛生週間促進大会、11月の部会講習会に向けて準備を進めています。

今後とも会員会社、関係各位の御協力を宜しくお願い致します。
衛生部会部会長 遠藤 記



編集後記

今年の夏はどうなる?!

この記事が掲載される、7月はどんな夏空でしょうか? 「猛暑・平年並み・まさかの冷夏」個人的には、暴風雨災害が無い、平年並みの夏を願っています。

近年、夏と言えば「熱中症を防ごう」が、各企業・家庭で取り組んでいる重要課題でしょう。昨年発生した労働災害では、全国の熱中症による死亡災害は29人と大変多い状

況であり、本年も発症が懸念されています。

皆様、熱中症には健康管理が重要と言われています。十分な睡眠と朝ごはんをしっかり食べ、猛暑に負けない体力を養いましょう。

猛暑も気になるころですが、今年の夏は4年に一度のオリンピックが開催されます。8月には開催地のリオデジャネイロを中心に世界中が熱く燃える事でしょう。

“がんばれ日本”の応援では、寝不足で体調を崩さないよう十分気を付けたいものです。

皆さん! 「名水百選選抜総選挙」で美味しさ1位に輝いた、秦野の水を飲んで、今年の夏を元気に楽しみましょう。ご安全に!
(株)コベルコマテリアル銅管 五十嵐 記